

# テーマ:光と影

長崎保育園(豊島区)

## テーマを設定する

前年度の年長児がやっていた様子を見て興味を持っていたので、同じテーマを取り入れた。去年使っていた素材が残っていたので、すぐに興味を持ち今年は自分たちができるのだと子どもたち自身で思っていた子もいた。

## 活動 アーティストワークショップ1~4

光と影を用いた身体表現のワークを実施。白い布に明かりをあてて身近なもので影あそびをしたり、からだの動きやポーズを映してあそんだ。グループで短いシーンをつくり、影絵で表現し、それをつなげて一つの影絵パフォーマンスを創作して3、4歳児クラスに向けて発表した。

## 環境をデザインする

白布、スタンド、ライト、懐中電灯、ほうき、おもちゃ、スピーカー、遮光用ビニールほか

## 探究活動を実践する

### ●活動内容(1日目)

- 1.外部講師が「光と影のダンス」を見せ、講師の動きをまねっこする
- 2.スクリーンで影絵あそび。歩いたり、ハイハイしたりして影を観察
- 3.チームに分かれて影の実験。合体して恐竜の形をつくる、光源との距離と影の大きさを試すなど
- 4.影でモノ当てクイズ
- 5.水を入れたペットボトルやカラーセロファンに光を当て、部屋を自然の中に見立てて、その中で生き物になり切って動く

※2日目はスクリーンを使ってグループごとにシーンを作った。3日目は同テーマに基づき別内容で造形ワークショップを実施した。4日目にはそれをつなげて一つのパフォーマンスとして3、4歳児に向けて発表した。

### ●子供たちの様子

- ・外部講師の動きをしっかりと見ながら、からだの動きだけでイメージを表現し、やりとりしている姿がみられた
- ・スクリーンの影をよく見て観察していた。
- ・グループで影をつくるときには、実際にスクリーンに影を映しながら話し合ったり、スクリーンの向こう側の子どもたちからも声が上がったりした。

## 活動スケジュール(5歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① アーティストワークショップ1 講師:辻田暁(ダンサー・俳優)他1名	R7.9.4(木)	60分程度	18人
② アーティストワークショップ2 講師:辻田暁(ダンサー・俳優)他1名	R7.9.12(金)	60分程度	17人
③ アーティストワークショップ3 講師:水内貴英(美術家)	R7.9.25(木)	60分程度	19人
④ アーティストワークショップ4 講師:辻田暁(ダンサー・俳優)他1名	R7.11.18(火)	60分程度	18人
⑤ 影で色々な形を作ってみたり、気になるものを光で照らしてみる	R7.6.25(水)	60分程度	20人



## 振り返りをふまえた気づき

### ●保育士から

- ・子どもたちは複数回のワークショップに期待感をもって参加することができ、最終回には自分で創作したお気に入りのシーンを再現するなど、積み重ねた経験をもとにパフォーマンスすることができていた。
- ・複数のシーンがあり、それぞれがやりたいグループに入るようにしたので、やる気をもって遊びに参加できていた。
- ・回数を重ねるごとに、スクリーンを見ながら動けるようになっていた。影は、自分が動きながら、見ることができる面白さがあり、クラスに合ったテーマだった。